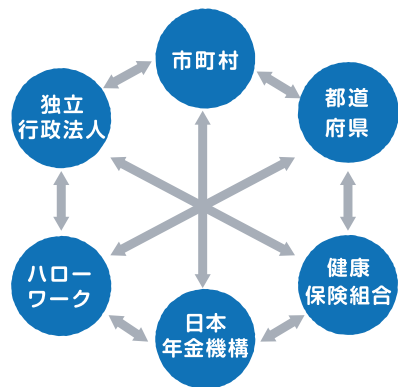


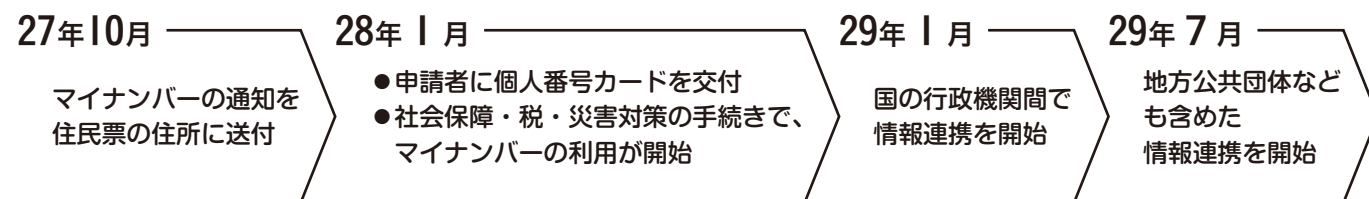
社会が変わる

マイナンバーは、安全・安心な仕組みで各機関が分散管理する個人情報をつなぐ役割を果たします。

国や地方公共団体などでの情報連携が可能になり、さまざまなメリットをもたらします。



制度実施の流れ



マイナンバーで広がる「ゆたかな暮らし」

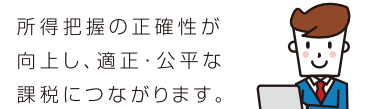
国民の利便性の向上

年金や福祉などの申請で、書類の添付が減ります。



公平・公正な社会の実現

適正・公平な課税を実現します。



年金などの社会保障を、確実に給付します。



行政の効率化

行政手続が、正確で早くなります。

各機関で作業のムダが削減され、手続がスムーズに!



災害時の行政支援にマイナンバーを活用。

被災者台帳の作成などにより、迅速な行政支援を実現します!



このほかにも…

●個人番号カードの導入

市町村に申請すると交付が受けられる顔写真つきのICカード

●マイポータル(仮称)の導入(29年1月から)

自宅のパソコン、スマホなどから、さまざまな情報を取得できる個人用サイト

マイナンバーとは

マイナンバー(正式名:社会保障・税番号)とは、国民一人ひとりが持つ12桁の番号のことです。これは、社会保障、税、災害対策の分野で個人の情報を適切かつ効率的に管理するために活用され、本年(平成27年)10月に、住民票を有する全ての人に通知されます。

**今年の10月から
あなたにも
マイナンバーが
通知されます。**

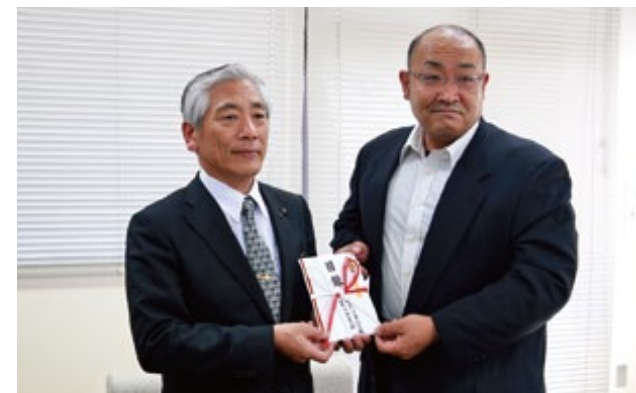
もうすぐ
はじまるよ!

マイナンバーキャラクター
マイナちゃん



コールセンター(全国共通ナビスタイル) **マイナンバー**
☎0570-20-0178

平日9時30分～17時30分(土日祝日・年末年始を除く)
※一部IP電話等で上記ダイヤルに繋がらない場合は、
050-3816-9405におかけください。
※ナビダイヤルは通話料がかかります。
または 情報統計課 ☎050(3381)5100



復興への願いを南島原から

5月13日、がまだせ東北支援実行委員会の隈部和久会長が市役所を訪れ、宮城県南三陸町の復興支援のため、寄付金を市に寄託しました。

この寄付金は、今年3月8日に開催された「東日本大震災復興支援イベント第3回リメンバー 3.11」において、会場での募金やお店の出店料などの収益金の中から寄せられたもので、今回191,563円が市長に渡されました。

贈呈式で隈部会長は、「震災が風化していくのが一番怖いこと。3.11を忘れることなく、これからも復興イベントなどを通して被災地支援を行っていききたい」と話していました。



親を大切に思う心を受け継ぐ 孝子祭



4月24日に、加津佐町津波見地区で「孝子祭」が開催されました。これは、親孝行で讃えられた安永安次さんの命日である24日に毎年開催されているもので、家族を大切に、「あたたかい心と思いやり」の道德心を養い、子どもたちの健全育成を図ることを目的にした行事です。

式典の中で、旧津波見小学校の子どもたちみんなで「孝子の歌」を合唱し、安次さんの心を歌い上げ、安永さんの善行を受け継ぐことを誓いました。

Focus in 南島原 まちの話題



大切なまちを守りたい

4月19日、新入消防団員と幹部団員の教育訓練が南有馬体育館で行われました。

新入消防団員や幹部団員の基礎的な教育訓練と現場活動に必要な知識や技術を習得し、いざという時に備えることを目的に行われた本訓練。参加した団員は、真剣な表情で一つひとつの動作を行っていました。



帰省客でにぎわう 戸ノ隅公園滝祭り

5月4日、西有家町の戸ノ隅公園広場と滝つぼで戸ノ隅公園滝祭りが開催され、ステージイベントでは今年度で閉校となる長野小学校の児童が童謡「ふるさと」の合唱を披露するなど、地元愛に包まれたイベントとなりました。



そうめん流しで提供されたそうめんは、長野名のそうめん業者が調理したもので、プロが茹でたシコシコ麺を来場者はおいしそうに頬張っていました。